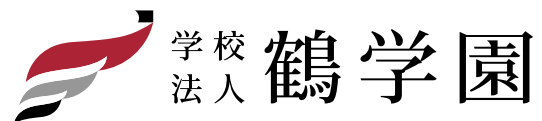


地域の人材育成に向けた 広島工業大学の取組み

人を想う、どこまでも。



地域の人材育成に向けた学校法人鶴学園の取組み

スポーツ

オリンピック



ビジネス

経営者



技術者



芸術・文化

俳優



劇団員



自治体・産業界との連携、地域住民へ学びの機会提供など教育体験を通して多様な人材を育成

大学・高専機能強化支援事業に選定

広島工業大学

- ・地域社会を支える技術者の育成
- ・小学生向けものづくりイベント開催

建学の精神

教育は愛なり

なぎさ公園小学校

- ・ほんものを体験できる教育スタイル
- ※ビオトープ、天然芝、自然体験学習

広島工業大学専門学校

- ・海外提携校との連携(シンガポール)
- ・地域でのPCスクール開催

人を想う、どこまでも。



学校法人 鶴学園

広島なぎさ中学校

- ・地域社会と連携した授業の展開
- ・留学、芸術鑑賞など様々な体験提供

DXハイスクール採択

広島工業大学高等学校(全日/通信)

- ・大学と連携したSTEAM教育の実施
- ・サンフレッチェ広島工大校ジュニアユース

常に神と共に歩み
社会に奉仕する

教育方針

広島なぎさ高等学校

- ・多様な学びを支援する取組み
- ※単位制の新コース導入

工大ブランド

総合学園 2026年2月で創立70周年

なぎさブランド

12
年一貫教育

地域の人材育成に向けた広島工業大学の取り組み



未来の、その先をつくる。

広島工業大学

製造業が多い広島県において唯一の工業大学

日本初の環境学部を設置(防災DX/地球環境の調査・分析に強み)

東洋経済(本当に就職に強い大学ランキング 2024年卒)
全国14位 / 中四国1位

全学部認定
中四国私大で本学のみ

中四国地方のインフラを支える人材を育成

就職率99.7% 学びを活かせる専門職率94.0%(2024年3月卒業者)

デジタル社会の担い手を育成

数理AI・データサイエンス教育プログラムの応用基礎レベルに全学部が認定

女性エンジニアの育成

女子学生キャリアデザインセンターの設立(2007年～)

産業界



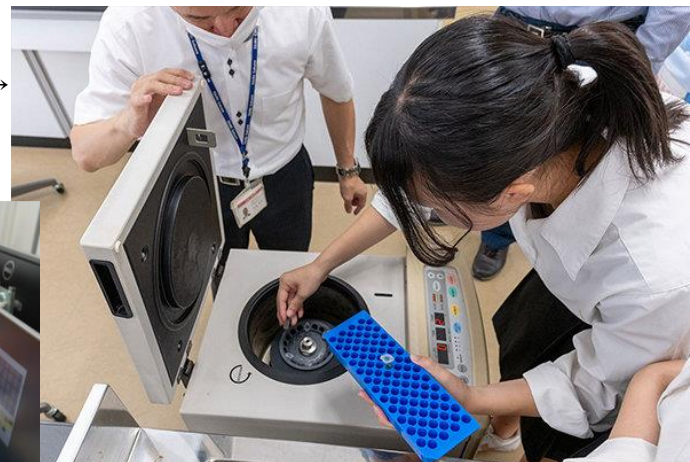
← 広島工業大学地域連携技術研究協力会
(HITスクエア)の総会を定期的を実施
※本学の研究をパネルで発表

連携協定締結企業でのPBL科目実施→
※IE(生産工学)手法を用い生産性
向上を図る。
※作業を科学的に分析するため、
複数の定点カメラを設置。



自治体/地域社会

高大連携事業による「探究学習」支援→
※DXハイスクールなど
※遠心分離機を用いた実験を体験



← 女子学生キャリアデザインセンター(JCD
センター)によるプログラミング教室

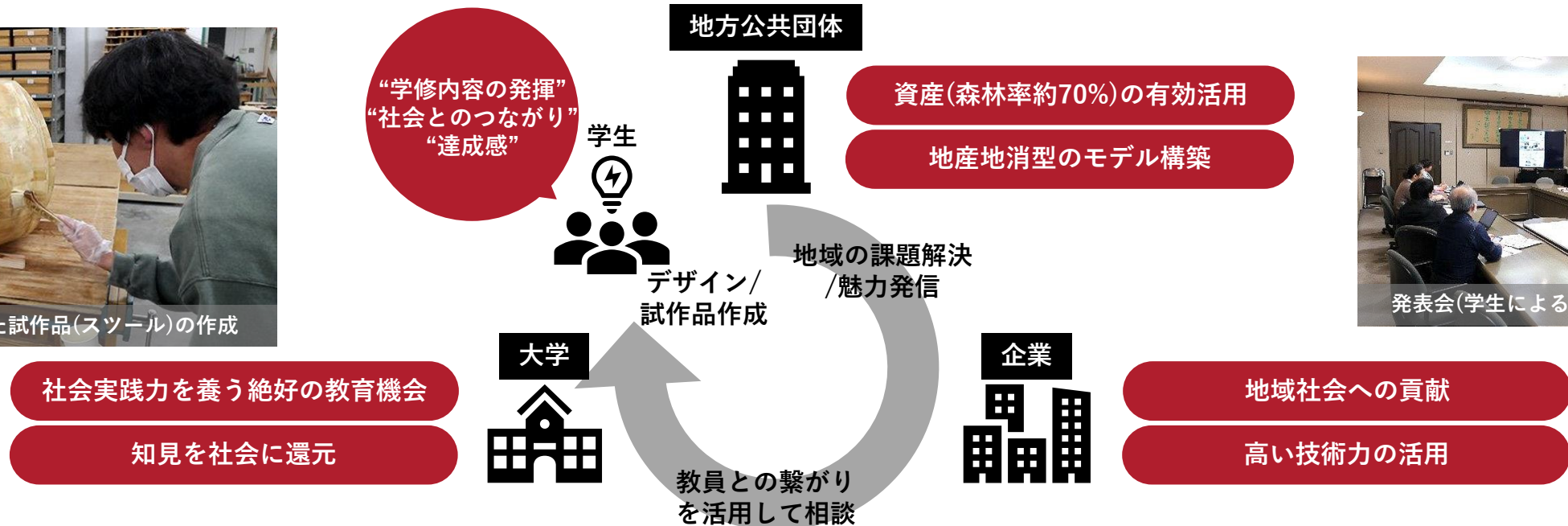
広島県をはじめとして、自治体・企業と22件の連携協定を締結

広島工業大学における産官学連携の取組み(具体例)

■広島県府中市 スポーツ振興施設(新築)に設置する”家具開発プロジェクト”

目的

- ・ 2025年7月にオープン予定の施設建物内に多世代交流の空間を実現すること
- ・ 府中市内で間伐されたヒノキ丸太のみを用い、価値が低いとみなされている間伐材を高付加価値商材に転換すること



学生自ら作成した試作品は大変高い評価を受け、本製作することが決定

広島工業大学における産官学連携の取組み(課題)

■運営上の課題

コミュニケーション

- ・産官学3者で進めていくには、旗振り役が必須(協議日程調整、進捗管理や合意形成 等々)
- ・各セクター間で相談しやすい関係づくりがなければ案件自体が発生しない

目標(ゴール)の違い

- ・各セクターが異なる目標や優先事項を持っているため、連携の方向性が一致しない。
※目標が明確でも、最終的に成果を上げるには大変な労力が必要

資金及びリソース面

- ・連携プロジェクトには資金及び運用できる人的資源が必要

国の支援・地方公共団体の協力が必要不可欠

地域社会との繋がりとそこで活動する楽しさを実感できる教育機会をどれだけ増やせるか



活動を通して、地域社会(自治体/企業)を知り、郷土愛を醸成することが**地域**の**基盤人材育成**に繋がる

教科書通りのキレイな連携ばかりでなく、

地域の基盤人材を担う学生を3者で育てる意識

小さな産官学連携の件数を積み重ねる

広島工業大学における産学連携の取り組み(具体例)

■学生プロジェクト「HIT-ALPs」 ※工学部電気システム工学科独自の取り組み

目的

学生の自主性の活性化 及び 小中高生やその保護者へ”電気って面白い”を発信すること

内容

学生が”電気”の魅力を発信するために、やりたいことを企画・検討し、実施する課外活動(合計8チームで活動)

[例] 中高生を対象とした出張授業(ワイヤレス給電実験 等)、小学生対象の電気工作教室の実施(電気回路の作成 等)
大学校舎にLEDイルミネーションを展示

学生の主体性向上

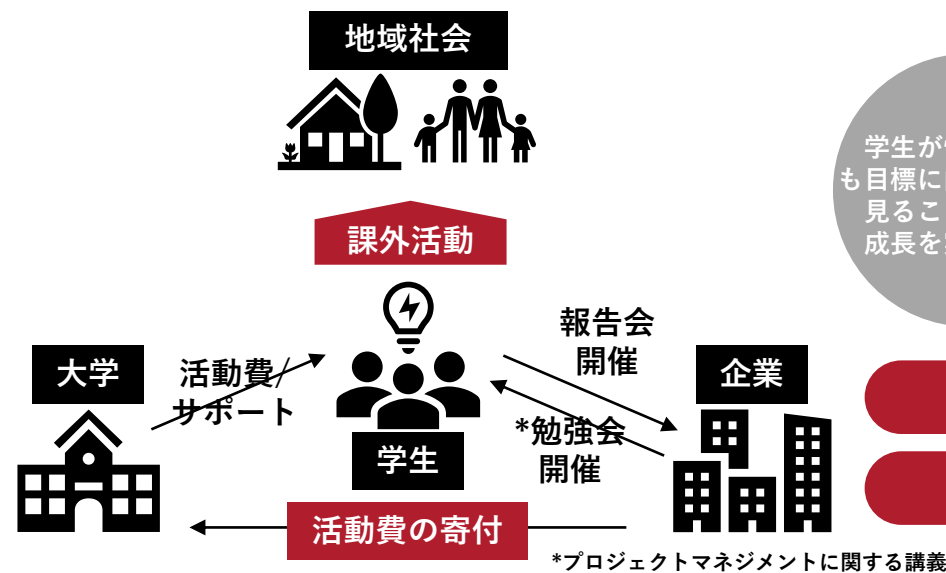
チームで働く力の醸成

プレゼン能力の向上

振り返りによるPDCAの習慣化

地域社会貢献(学びの提供)

大学/学生のメリット



報告会参加企業の声(アンケート)

学生が悩みながらも目標に向かう姿勢を見ることができ、成長を実感した。

活動の振り返りも自分達で行い、来期の目標設定をしていることが素晴らしい。

学生の方々の考え方、気持ち、発想などにふれることができ、新鮮でした。

”電気人材”育成の支援

学生と直接コンタクト

企業のメリット

学生を中心に据え、活動への賛同企業からのご支援(知見の提供及び金銭面)で共に人材を育成していく産学連携

Hiroshima Making Hub **誕生!!**

2025年4月に、デジタルものづくりの場として
4つのラボを有する「Hiroshima Making Hub (M-Hub)」を開設。

学生や小中高生、そして地域の皆さんに「**ものづくり**」の楽しさを実感してもらうために、最新のデジタル工作機器(3Dプリンタ、レーザー加工機他)を多数備えます。



“未来の、その先をつくる。”大学へ

2025年度 改組の概要

新しい未来に挑戦する 「未来創造力」

今まで掲げてきた「専門力」「人間力」「社会実践力」の3つの力をさらに強化。失敗を恐れず信念を持って挑戦し、新たな価値を創造することができる力を磨きます。



WISDOM LINKAGE

未来の社会をつくる11学科3つの領域の学び

社会から大きな変革をもとめられている3つの領域で、ボーダレスな学科の連携を通し、未来のその先をつくる力を育てます。

情報の学び

情報技術を支えるツールや素材、ネットワークやシステム、アプリ、またその活用方法など、工学的アプローチから経営的アプローチまで、多様な研究に挑戦。

- 電子情報工学科
- 機械情報工学科
- 情報工学科
- 情報システム学科
- 情報マネジメント学科

建築・建設の学び

家具や室内のデザインから、家、商業施設、都市のインフラまで、規模の異なる多様な建築・建設に挑戦。

- 環境土木工学科
- 建築工学科
- 建築デザイン学科

生命・環境の学び

持続可能な社会のための食事やクリーンエネルギー、自然環境と人間の共生など、さまざまな学びに挑戦。

- 電気システム工学科
- 地球環境学科
- 食健康科学科

“未来を拓くための+αの学びを。”

アントレプレナーシップ/分野横断教育/グローバル教育